

1. 調査報告概要表

作成日 2009年11月16日

【評価実施概要】

事業所番号	1072000571
法人名	(株)シーアンドエス
事業所名	グループホーム あかぎ
所在地	群馬県渋川市赤城町勝保沢 732-1番地 (電 話) 0279-20-7008
評価機関名	サービス評価センター はあとらんど
所在地	群馬県前橋市大渡町 1-10-7 群馬県公社総合ビル5階
訪問調査日	平成 21年10月16日

【情報提供票より】(21年9月15日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 4 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21人	常勤 18 人, 非常勤 3 人, 常勤換算17.7 人	

(2)建物概要

建物構造	鉄筋 造り
	3 階建ての 1 階 ~ 3 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食 円 昼食 円	夕食 円 おやつ 円	
	または1日当たり	1, 200 円	

(4)利用者の概要(9 月15日現在)

利用者人数	27 名	男性 7 名	女性 20 名
要介護1	3 名	要介護2	6 名
要介護3	6 名	要介護4	9 名
要介護5	3 名	要支援2	0 名
年齢	平均 88.7 歳	最低 76 歳	最高 103 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	渋川中央病院 こすもすクリニック 永井歯科 青柳歯科
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは山間地中腹の農村地帯あり、ホームの窓を通し居ながらにして季節の移ろいを肌で感じる事が出来る閑静な環境の中に立地している。この山間地で如何に地域との付き合いを広めるかが一つの課題であったが、地域行事への参加・地元商店や飲食店の利用・ホーム行事参加の呼びかけ等により、今年のホームの夏祭りに初めて近隣の方々の参加が見られた。これはホーム理念の実践に向けた職員の日頃の努力の成果であり、今後も更なる交流の輪が広がることを期待したい。管理者・職員は常に利用者向き合い、一人ひとりが張り合いのある生活が送れるよう、其々の思いを受け止めて日々の生活を支援している。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価結果の課題について話し合いの結果、評価の意義と活用・家族等への報告については改善に取り組んだ。介護計画の見直し・食事や入浴の支援・施設の問題等については、其々の意義を踏まえながら再度の検討を期待したい。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ユニットリーダーが中心になって全職員の意見を集約し、管理者が完成させたものである。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は定期的に開催されており、ホームからは利用者の様子・外部評価やアンケートの結果・介護保険等について説明をしている。各委員からは要望を聞いたり、意見交換をしてサービスの向上に活かしている。施設についても意見交換がなされ、現段階では利用者の安全のために施設して欲しいとの意見が多い。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の来訪時・月1回のホーム便りの発行・年1回の無記名によるアンケートの実施等で家族等の意向や要望を聞いている。家族から職員の対応について率直な意見があり、即改善に取り組み、サービスの向上に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 新聞回収の協力・ホーム行事参加の呼びかけ・地元商店や飲食店の利用等により、地域の方々との交流の機会を作っている。今年の夏祭りには4~5人の方の参加があり共に楽しむことが出来た。JA主催のいも掘り大会には利用者・職員が参加し、地域住民との交流を深めることが出来た。

2. 調査報告書

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し、従来の理念に「地域との関連性を盛り込んだ」事業所独自の新たな理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は目に付き易い玄関や職員室に掲示し、職員会議や担当者会議、日々の生活の中で、折に触れ理念を振り返り実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新聞回収の協力、ホームの夏祭り参加の呼びかけ、地元の商店での買い物や飲食店の利用等により、出来るだけ地元住民との交流の機会を作っている。今年の夏祭りには4～5人の方が初めて参加され共に楽しむことが出来た。JA主催のいも掘り大会に利用者と職員が一緒に参加し、地域の人達と親交を深めることができた。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価はユニットリーダーを中心に職員全員が評価票に気付きを記入し、管理者がまとめて作成したものである。外部評価結果についても全体会議で話し合い、出来ることから改善に取り組んだ。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は定期的開催されており、ホームからは利用者の様子・外部評価やアンケートの結果・介護保険等についての説明を行っている。委員から要望や意見を聞いたり、意見交換を行いサービスの向上に活かしている。施錠についても話し合いが行われ、現在は安全のために施錠して欲しいとの意見が多い。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者をホームの行事に招待したり、書類の手続き等で訪問した時に相談や情報交換を行い、連携を深めるように努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時にはホームでの利用者の様子や健康状態を報告している。毎月ホームだよりを発行し、行事の報告やお知らせを記載すると共に個別の暮らしぶりや身体状況について報告している。状況等の変化のある場合は電話で報告することもある。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や電話連絡の際などに何でも話せる雰囲気を作っている。年一回、無記名によるアンケートを実施しており、家族等の意向や要望を聞いている。職員の対応等について率直な意見があり、即話し合っ改善に取り組み、サービスの向上に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の意向や適正を考えながら、離職や異動を最小限に抑える努力をしている。ユニット間での異動はあるが日頃からの交流や夜勤等により、利用者とは馴染みの関係が出来ており特にダメージは見られない。新入職員については入職後日勤は約2週間、夜勤は2～3回、先輩職員と2人体制で業務に付くようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人主催による月別の職員研修計画が作成されており、ビジネスマナーや介護の仕方等各人の希望や段階に応じて研修会に出席している。又、外部研修の実践者研修やリーダー研修等にも出席している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域密着型サービス連絡協議会に加入してグループホーム大会や研修会に参加したり、他のホームを見学して情報交換をすることで多くのことを学びサービスの向上に活かしている。今年のグループホーム大会において事例発表を行っている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望の場合は居宅または施設を訪問し、生活環境や本人・家族の思いや希望を聞き、其の後施設を見学してもらい利用に繋いでいる。入居後は寄り添って様子を観察し、家族と相談しながら徐々に馴染んでもらえるよう取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴や能力に応じてモップかけ・洗濯もの干し・おしぼりまき・食材の仕分け・配膳・テーブル拭き・ゴミ出し・季節の飾り物の作成等を職員と一緒にしており、共に生活しているという意識を持ってもらえるよう工夫している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中での会話や表情等から思いを汲み取るようにしているが、困難な場合は家族等と相談したり、アセスメントにより生活歴や意向を確認しながら、思いの把握に取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の意向等を聞き、意見交換シートを参考にケアカンファレンスを行い、介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1ヶ月1回のモニタリングと6ヶ月に1回の見直しを行っているが、状態が変化した時には随時見直して新たな計画を作成している。	○	新たな変化や要望が見られない場合でも、本人・家族の状況や意向を確認するためにも見直しは3ヶ月に1回行うことが望ましい。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の意向に応じて通院支援・買物の同行や緊急時の病院への送迎等柔軟な対応をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望するかかりつけ医となっており、家族の都合により通院の送迎を行うこともある。協力医が毎週往診しており、かかりつけ医となっている利用者は月に一回受診している。体調により全ての利用者が協力医の診察を受けることが出来、結果については電話やお便りで報告している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りに関して事業所としての基本的な方針が作成されており、入居時に説明している。状態の変化に応じて家族等の意向を確認しながら、医師・訪問看護師・職員などの関係者が話し合っており、家族の意向に沿った対応が出来るよう取り組んでいる。看取り介護についての学習を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員入居時にプライバシーの確保の徹底や個人情報の保護に関しての説明をしている。利用者に対しての言葉かけについては特に気を付けており、業務の中で随時職員への注意を行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な生活日課はあるが職員の業務を優先するのではなく、利用者一人ひとりの「やりたいこと」を受け止めた支援をしており、テレビを観たり、絵を描いたり利用者は自由な雰囲気の中で生活している。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士作成の献立による食材を購入しており、調理の準備・配膳・下膳・食器洗い等、利用者は出来ることを職員と一緒にしている。検査者はいるが、職員は利用者と一緒に食事はしていない。	○	利用者にとって食事が楽しいものとなるためにも、介助する一方にならずに、利用者と職員が同じ食卓を囲んで同じものを一緒に食べることを検討して欲しい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週に3日、午後の入浴となっており、利用者の状況により声掛けの工夫や時間をずらして入浴が楽しいものとなるよう支援しているが、一人ひとりの希望に合わせていつでも入浴可能な体制は出来ていない。	○	職員の勤務体制等の工夫により、利用者の従来の習慣等を考慮した個別の入浴支援が出来るよう努力して欲しい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	雑巾縫い・テーブル拭き・おしぼり片付け・モップかけ・食器洗い等の役割、ホーム行事の夏祭り・JA主催のいも掘り大会・外食・お花見・イチジク狩り・ドライブ・散歩等の楽しみ事や気晴らしの支援等により喜びのある日々を過ごせるよう工夫している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な散歩の他に、買い物・ドライブ・地域行事の参加・ホーム敷地内でのお茶会等出来るだけ戸外に出て、気分転換を図っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠することによる弊害は理解しているが、法人としての考え、運営推進会議での話し合い等の結果、安全性重視のため玄関には鍵をかけている。	○	利用者の状況や職員の勤務体制等を工夫することで、施錠をしない時間帯を設けることを検討して欲しい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防署の協力により、昼夜を想定した避難訓練を実施して避難方法等を学んでいる。近隣の商店や住民の方には協力をお願いしている。運営推進会議においても災害対策の話題は出ており、訓練時には委員の方々に見学してもらい、災害時の協力をお願いしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士作成の献立によるバランスのとれた食事を提供しており、食事や水分の摂取量は記録に残し職員は共有している。利用者の状態や力に応じて食事形態を変えて提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	2ユニット共に窓が広く、居ながらにして季節の移り変わりを感じることが出来、共有スペースはゆったりとして明るく落ち着ける雰囲気である。ユニット毎に其々個性のある工夫をしながら、共有スペースには神棚・観葉植物・利用者の作品・テレビ・雑誌書籍等を配すると共に談話コーナーも用意しており、居心地良く過ごせるような配慮が見られる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は馴染みの品々(書道の道具・観葉植物・化粧道具・テレビ・位牌・筆筒等の家具類・ぬいぐるみ等)を持ち込んで居心地良く過ごせる居室作りの工夫をしている。		